

The Emerging Market Weekly

国際為替部

マーケット・エコノミスト

佐々木 貴彦

03-3242-7065

takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜

03-3242-7065

yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

齋藤 周

03-3242-7065

amane.saito@mizuho-bk.co.jp

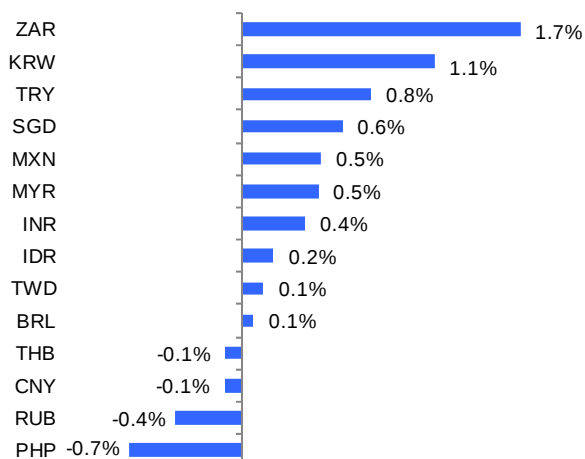
今週のエマージングマーケット

原油高を受けて資源国通貨が上昇

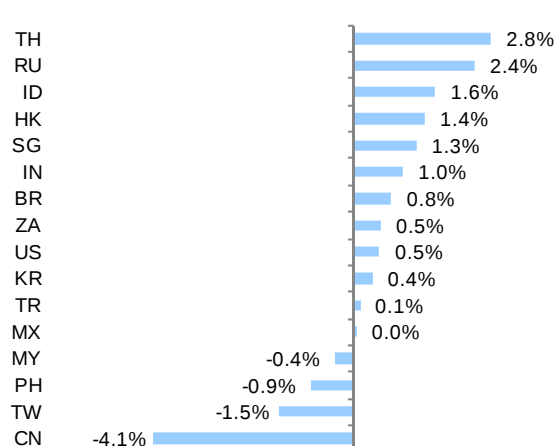
今週の新興国通貨は、総じてレンジ内推移となる中、資源国通貨の上昇が目立つ展開となった。17日に開催された産油国会合は、イランの不参加を理由にサウジアラビアが増産凍結に反対したため、最終合意には至らず終了した。この結果を受けて、週初は原油価格が下落し、資源国通貨も軟調な展開となった。しかし、19日にクウェート石油労働者組合によるストライキの影響から同国の産油量減少が報じられると、原油価格は上昇に転じ、資源国通貨も反発した。20日、イラク副石油相が5月にロシアで産油国会合が開催される可能性があると言葉すると、原油価格は上伸し、資源国通貨は連れ高となった。21日、ECB理事会では現状の金融政策維持が決定された。今回の決定に対する新興国通貨の反応は限定的となった。

個別通貨で見ると、商品価格の反発を背景に ZAR (+1.7%)、MXN (+0.5%)、MYR (+0.5%) は上昇した。韓国中銀 (BOK) の金融政策決定会合では、李 BOK 総裁が市場予想ほど追加緩和に積極的でなかったことが明らかになり、KRW は (+1.1%) 上昇した。また、トルコ中銀 (CBRT) の金融政策決定会合では、金利コリドーの上限が大幅に引き下がるとの思惑が燃える中、市場予想通りの引き下げ幅となったことが好感され TRY (+0.8%) は値を伸ばした。

エマージング通貨騰落率(対ドル)



エマージング株式騰落率



(注) US: 米国 S&P500 種指数、CN: 中国上海総合指数、HK: 香港ハンセン指数、IN: インド SENSEX30 種指数、ID: インドネシアジャカルタ総合指数、KR: 韓国総合株価指数、MY: マレーシア FTSE ブルサマレーシア KLCI インデックス、PH: フィリピン総合指数、SG: シンガポール ST 指数、TW: 台湾加権指数、TH: タイ SET 指数、RU: ロシア RTS 指数、ZA: 南アフリカ FTSE/JSE アフリカ全株指数、TR: トルコイスタンブールナショナル 100 種指数、BR: ブラジルボベスバ指数、MX: メキシコボルサ指数

(資料) ブルームバーグ

エマージングマーケット短期見通し

良好な中国経済指標、堅調な原油が新興国通貨を下支え

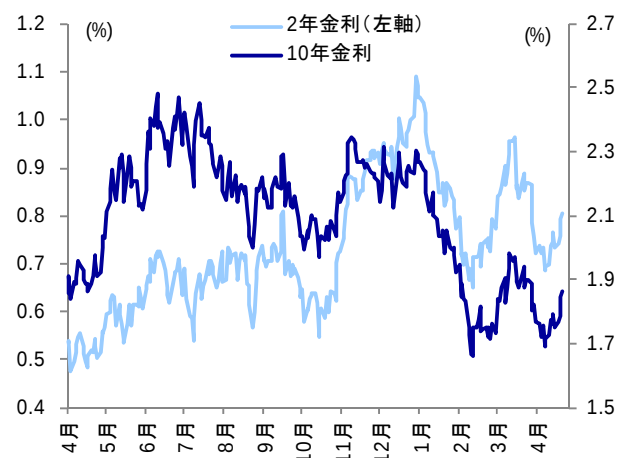
今週の新興国通貨は、概ね底堅い展開となった。前週末の 15 日に発表された中国経済指標が概ね良好な結果となったことで、安定した値動きを見せる通貨が目立った。そのほか、17 日に開催された原油生産量の増産凍結に向けた協議は決裂したものの、5 月以降も協議の場がもたれることが報じられたことで、原油価格は上昇し、資源国通貨は連れ高となった。

FOMC に向けては軟調な値動きを予想する

来週の新興国通貨は、26 日（火）～27 日（水）の FOMC までは軟調な展開となるも、その後は安定推移を予想する。FOMC については、一部のメンバーから 4 月利上げの検討を支持する意見が聞かれている。そのため、利上げ警戒感から FOMC にかけては新興国通貨売り優勢の展開となるだろう。しかしながら、4 月 6 日に公表された前回 FOMC（3 月 15 日～16 日開催分）の議事要旨では、「数人の参加者は利上げに対する注意深いアプローチが賢明であり、4 月利上げは適切とは思えず、性急さを孕むといった見解を示した」との記述が見られている。また、イエレン FRB 議長も緩やかな利上げの支持を改めて表明しており、FRB メンバーの主流派は利上げを急いでいないと推測されることから、政策金利は据え置かれると予想する。よって、FOMC 後の新興国通貨は、売り圧力が後退し、安定した値動きになることが見込まれる。

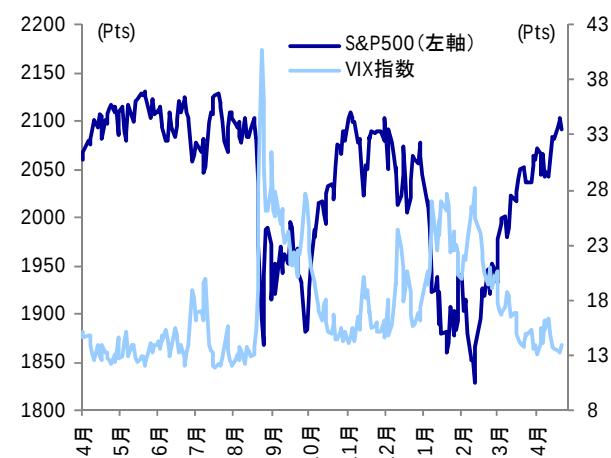
リスクとしては、前回の FOMC 声明文において「国際経済と金融動向は引き続きリスクが残る」とされていた表現が、中国経済指標の改善などを受けて、大きく上方修正ないしは文言自体が削除されることだと考える。そうなった場合、6 月利上げの織り込みが金利市場において急速に進む可能性が高く、米金利は上昇し、ドル高・新興国通貨安が進むだろう。そのため、FOMC 後の米金利市場の反応も新興国通貨にとって重要になると考える。

図表 1: 米国債利回りの推移(過去 1 年間)



(資料)ブルームバーグ

図表 2: 米株と VIX 指数の推移(過去 1 年間)



(資料)ブルームバーグ

エマージングマーケット:国別の注目材料

ブラジル: 金融政策決定会合プレビュー

インフレ率は低下も、BCB は政策金利を据え置く見込み

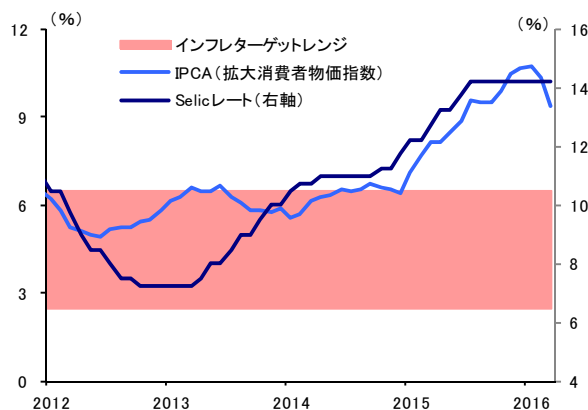
28 日(木)に開催されるブラジル中銀(BCB)の金融政策決定会合(COPOM)では、7 会合連続で政策金利(Selic レート)が据え置かれると予想する。前回(3 月 2 日)会合の声明文では、金融政策を維持した理由として国内外の冴えない経済情勢やインフレ見通しの悪化が指摘された。もっとも、その後に発表された経済指標は、3 月拡大消費者物価指数(IPCA)が前年比+9.39%と 2 月(同+10.36%)から 2 か月連続で減速し、これを受けて 2 月実質広義小売売上高は前年比▲5.6%と 1 月(同▲13.3%)から減少幅が大きく縮小している。そうした中、4 月 17 日には下院においてルセフ大統領の弾劾が可決されるなど、政権交代への期待感から BRL は年初来で約+16%上昇した。BRL 上昇は輸入物価の下落を通してインフレ率を抑制する可能性が高く、BCB にも利下げ余地が生じているとも考えられよう。しかし、トンビニ BCB 総裁は 4 月 8 日に「物価のリスクバランスは依然厳しい」と、インフレ上昇に対する警戒感を崩さず、「利下げは考えていない」と発言している。そのため当面はインフレ減速が見込まれるものの、BCB は現状の金融政策を維持すると予想する。

ロシア: 金融政策決定会合プレビュー

原油価格の先行きが不透明なため、CBR は現状維持か

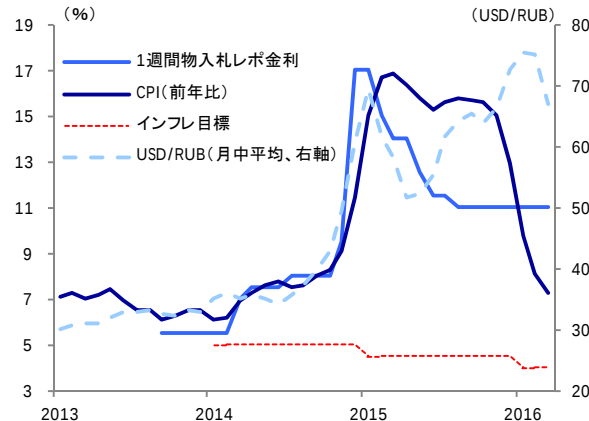
29 日(金)に開催されるロシア中銀(CBR)金融政策決定会合では、政策金利が現状の 11.00%に据え置かれると予想する。前回会合(3 月 18 日)では 5 会合連続で政策金利の据え置きを決定した。市場においては、原油価格の底入れから RUB 安圧力が後退し、インフレ率の縮小が見込まれてきたため、CBR がハト派化すると見る向きもあった。しかし、声明文を見ると「インフレ目標の達成を可能にするため、CBR はこれまで計画されてきたよりも長い期間に渡って緩やかな金融引き締めを行う」と市場予想よ

図表 3: ブラジル 政策金利と拡大消費者物価指数(IPCA)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 4: ロシア 政策金利と消費者物価指数(CPI)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

りもタカ派な文言となり、インフレ圧力が低下するまでは現状維持を続けるとの意向が示された。ロシア 3 月消費者物価指数 (CPI) は前年比+7.3% (2 月: 同+8.1%) と減速したものの、インフレターゲットの+4%を依然として大きく上回っている。また、17 日にドーハで開催された OPEC と非 OPEC の産油国会合で原油増産凍結は合意できず、原油価格の先行きについては依然として不透明感が高い。そのため、長期的に原油価格の安定が見込まれるようになるまでは、CBR は政策金利を据え置くであろう。

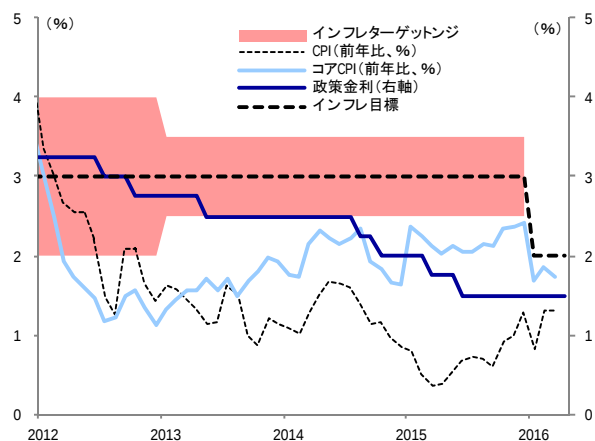
韓国: 金融政策決定会合レビュー

経済見通しを下方修正するも、
BOK は政策金利を据え置き

12 日に開催された韓国中銀 (BOK) の金融政策決定会合では、市場予想通り政策金利が現状の 1.50%に据え置かれた。今回の声明文では、米国経済や中国経済を始めとする世界経済に関する認識が前回会合よりも上方修正されたほか、内需が持ち直しつつあることが指摘された。また、会合後の会見で李 BOK 総裁は、「金融市場の安定性が損なわれるリスクが減少した」と述べており、こうした内外経済の減速懸念の後退、及び金融市場が落ち着きを取り戻したことを受けて、政策金利の据え置きが決定された模様だ。一方で、BOK は 2016 年のインフレ率見通しを+1.4%から+1.2%に、GDP 見通しを+3.0%から+2.8%に引き下げている。李総裁は「経済及び物価のダウンスайдリスクは高まっている」と述べ、更なる景気減速の可能性を認めた。それでも、利下げに踏み切らなかったのは、同総裁が「財政刺激策と金融緩和策は同時に準備されるべきであり、金融政策のみに頼るのは望ましくない」との旨の発言をしている通り、政府も財政刺激策に向けた動きをすべきとの考えがあると推察される。

4 月 13 日の議会選挙で与党セヌリ党が惨敗を喫した後、朴大統領は、「このような時であるからこそ韓国の体質を変えるための改革が中断されることのないようにしなければならない」と、短期的な景気浮揚を狙った財

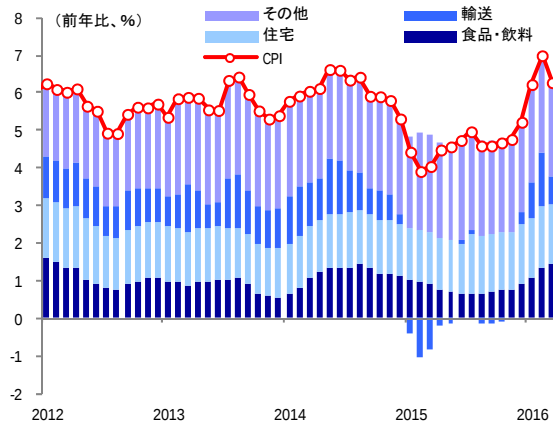
図表 5: 韓国 政策金利と消費者物価指数 (CPI)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

(注)韓国中銀は、2016 年よりインフレターゲットレンジを廃止

図表 6: 南アフリカ 消費者物価指数 (CPI)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

政刺激策ではなく、選挙前と変わらず構造改革を優先する旨の発言をした。朴政権は選挙前に経済失策批判をかわすべく、景気の底堅さを強弁した手前、拡張財政政策へ転換できなくなっている可能性が高い。一方で、2017年12月の大統領選に向けて巻き返しを図りたいセヌリ党としては、これ以上の景気減速は容認できないだろう。斯かる状況下、26日（火）に発表される2016年1～3月期GDPが、政策転換の理由となる可能性が高い。2015年10～12月期（前年比+3.1%）対比で減速が確認されれば、景気失速を防ぐとの理由から、短期的な景気浮揚策を採用しやすくなる見込みだ。

南アフリカ: CPIは減速も、インフレ目標を上回る

インフレ率は年初より3か月連続でSARBの目標を上回る

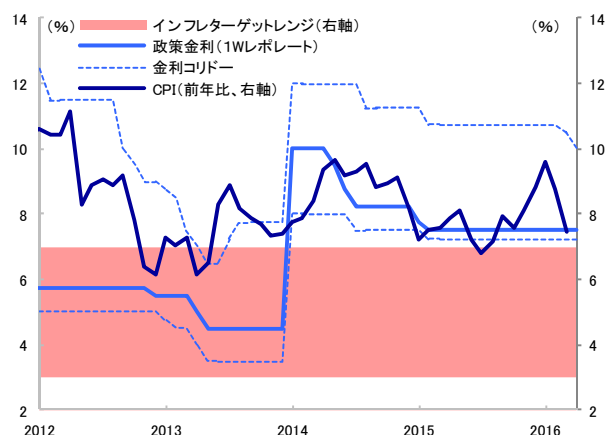
20日に発表された南アフリカ3月CPIは前年比+6.3%と2月（同+7.0%）から減速した。内訳を見ると、ガソリン価格の下落を背景に輸送費が同+4.5%と2月（同+8.7%）から鈍化し、また教育費も同+9.3%と前月（同+4.6%）から大きく減速した。しかし、今後は干ばつの影響から食品価格の上昇が見込まれるため、CPIの減速は一時的に止まる可能性が高い。18日に南アフリカ準備銀行（SARB、中央銀行）のミネレ副総裁は、インフレ目標レンジ（+3%～+6%）からの継続的な上ぶれについては、政策金利にて調整する必要があるとの旨の発言をした。南アフリカのCPIは、年初より3か月連続で目標レンジを上回っており、SARBが年内に追加利上げを行う可能性は高いと考える。

トルコ: 金融政策決定会合レビュー

新総裁着任後も、CBRTは引き締めスタンスの維持を表明

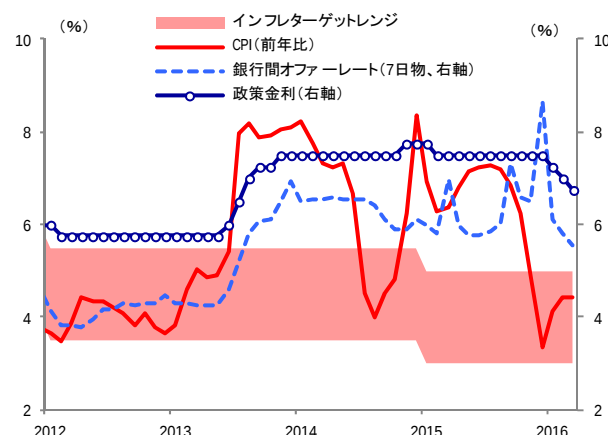
20日に開催されたトルコ中銀（CBRT）の金融政策決定会合では、政策金利である指標レポレートが7.50%、金利コリドーの下限である翌日物借入金利は7.25%に据え置かれる一方、コリドーの上限である翌日物貸出金利が50bp引き下げられ10.00%となった。声明文では、昨年8月に公表した

図表 7: トルコ 政策金利と消費者物価指数(CPI)



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 8: インドネシア 政策金利と消費者物価指数(CPI)



(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

ロードマップで示した通り、金融市場が落ち着きを取り戻したことを受けて、金融政策の簡素化を進めたとした。また、ここもとでインフレ率の低下が見られており、短期的に低下基調の継続が予想されるも、一方でコアインフレ率の減少幅は限定的となっていることから、引き締めスタンスを継続する必要があるとの文言が、声明文に追加された。今回の会合は、チェティンカヤ CBRT 新総裁による初の政策決定会合であり、政府の利下げ圧力に耐えられるかが懸念されていたものの、物価の上昇圧力が残っていることを明記し、かつ引き締めスタンスの維持を表明したことで、市場には安堵感が広がった。なお、今回の決定に対し、エリタス経済相は期待に届かなかったと発言しており、これからも CBRT に対し政府から利下げ圧力はかかり続けるであろう。

インドネシア：金融政策決定会合レビュー

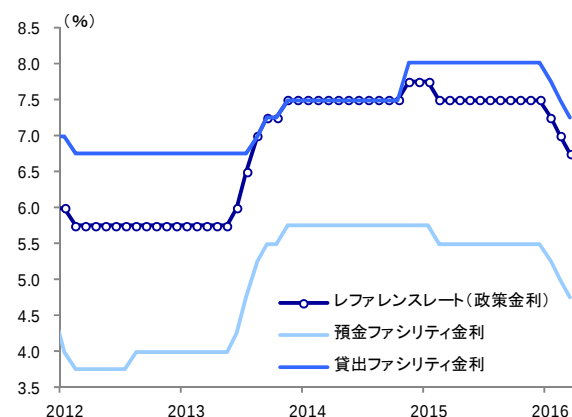
政策金利の変更もあり、当面 BI は政策金利を据え置きか 21 日に開催されたインドネシア中銀（BI）の金融政策決定会合では、政策金利（レファレンスレート）が 6.75%、貸出ファシリティ金利が 7.25%、預金ファシリティ金利が 4.75%にそれぞれ据え置かれた。また、今年 8 月 19 日から新たな政策金利として適用される 7 日物リバースレポ金利も 5.50%と、15 日の導入発表時の実勢値（5.50%）が設定された。声明文では、国内経済は 4～6 月期も民間投資を中心に引き続き堅調に推移すると予想されるほか、エネルギー価格の低下や内需拡大ペースが緩やかになることを理由に 2016 年のインフレ率は BI 目標（4%±1%）内に止まるとの楽観的な見方が示された。足許にかけては、景気下支えを目的に BI に対して政府関係者からの利下げ圧力が高まっていたが、当面、BI は 7 日物リバースレポ金利導入決定の効果を見極めるために、現状の金融政策を維持すると予想する。

図表 9：インドネシア 政策金利(期間別)

期間	政策金利
7日間	5.50%
2週間	5.60%
1か月物	5.80%
3か月物	6.20%
6か月物	6.45%
9か月物	6.60%
12か月物	6.75%

(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 10：インドネシア 政策金利と金利コリドー



(資料)ブルームバーグ、みずほ銀行

(注)金利コリドーの上限が貸出ファシリティ金利、下限が預金ファシリティ金利となっている

BI は新たな政策金利の導入による金融市場の深化を期待

なお、BI は 7 日物リバースレポ金利導入の理由として、①政策金利が 1 年物（360 日物）のため過去に海外からの資金流入が増加した局面では短期金利をコントロール出来ず、銀行間の短期金利がインフレ目標と整合的な政策金利を下回って推移したこと、②短期金利（期間 1 年以下）の基準金利が存在しないため、銀行間市場において金利の期間構造の形成が進まなかったこと、③結果的に金融政策の金融市場への波及効果が不十分なものに止まっていたことの 3 点を挙げている。そのため BI は今回の変更で、金融政策の市場への影響力を強めることや、短期金利市場の発展を目指している模様だ。実際、市場参加者に期間ごとの基準を与えるべく、声明文では 7 日物から 12 か月物までの政策金利の期間構造が公表されている。また、金利コリドー幅は現在 250bp と他国に比べて広く、政策効果の波及阻害要因にもなってきた 8 月以降に縮小される可能性が高いだろう。

政策金利の変更がこれまで以上に市場金利に反映されやすくなることで内外金利差の動きも金融政策の影響を受けやすくなる。これにより今後、BI が IDR 相場へ与える影響も拡大する見込みだ。

エマージング経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
4月15日 (金)	中国	3月 マネーサプライM2(前年比)	13.5%	13.4%	13.3%	--
15日 (金)	中国	3月 新規貸出 (人民元)	1100.0b	1370.0b	726.6b	--
15日 (金)	中国	3月 鉱工業生産(前年比)	5.9%	6.8%	5.9%	--
15日 (金)	中国	3月 小売売上高(前年比)	10.4%	10.5%	10.2%	--
15日 (金)	中国	1Q GDP(前年比)	6.7%	6.7%	6.8%	--
15日 (金)	シンガポール	2月 小売売上高(除自動車/前年比)	-1.5%	-9.6%	1.4%	1.5%
15日 (金)	インドネシア	3月 貿易収支	\$465m	\$497m	\$1136m	--
18日 (月)	インド	3月 貿易収支	-\$6700m	-\$5070.9m	-\$6541.8m	--
18日 (月)	シンガポール	2月 非石油地場輸出(前年比)	-12.3%	-15.6%	2.1%	2.0%
18日 (月)	インド	3月 卸売物価 (前年比)	-0.7%	-0.9%	-0.9%	--
18日 (月)	韓国	3月 韓国銀行7日間レートの	1.50%	1.50%	1.50%	--
19日 (火)	フィリピン	3月 総合国際収支	--	\$854M	-\$316M	--
20日 (水)	マレーシア	3月 消費者物価指数	3.4%	2.6%	4.2%	--
21日 (木)	インドネシア	2月 インドネシア銀行レファレンス・レート	6.75%	6.75%	6.75%	--
22日 (金)	台湾	3月 鉱工業生産	-5.5%	--	-3.7%	--
25日 (月)	タイ	3月 輸出(通関ベース/前年比)	-5.1%	--	10.3%	--
25日 (月)	タイ	3月 貿易収支(通関ベース)	\$2666M	--	\$4986M	--
25日 (月)	シンガポール	3月 消費者物価指数	--	--	-0.8%	--
26日 (火)	フィリピン	2月 貿易収支	--	--	-\$2638M	--
26日 (火)	シンガポール	3月 鉱工業生産(前年比)	--	--	-4.7%	--
26日 (火)	韓国	4月 消費者信頼感	--	--	10000.0%	--
26日 (火)	韓国	1Q GDP(前年比)	--	--	3.1%	--
29日 (金)	韓国	3月 鉱工業生産 (前年比)	--	--	2.4%	--
29日 (金)	台湾	1Q GDP(前年比)	-0.7%	--	-0.5%	--
29日 (金)	タイ	2月 貿易収支	--	--	\$5978M	--
中東欧・アフリカ						
4月15日 (金)	ロシア	3月 鉱工業生産(前年比)	-1.0%	-0.5%	1.0%	--
19日 (火)	ロシア	3月 実質小売売上高(前年比)	-5.1%	-5.8%	-5.9%	-4.3%
20日 (水)	南アフリカ	3月 消費者物価指数(前年比)	6.4%	6.3%	7.0%	--
20日 (水)	トルコ	4月 指標レートの	7.50%	7.50%	7.50%	--
20日 (水)	トルコ	4月 翌日物貸出金利	10.00%	10.00%	10.50%	--
20日 (水)	トルコ	4月 翌日物借入金利	7.25%	7.25%	7.25%	--
21日 (木)	トルコ	4月 消費者信頼感指数	--	--	67	--
29日 (金)	ロシア	4月 マーケット・ロシアPMI製造業	49	--	48	--
29日 (金)	ロシア	0 主要金利	11.00%	--	11.00%	--
29日 (金)	南アフリカ	3月 貿易収支(ラント)	--	--	-10.0B	--
ラテンアメリカ						
4月20日 (水)	ブラジル	4月 IBGEインフレ率IPCA(前年比)	9.3%	9.3%	10.0%	--
20日 (水)	ブラジル	3月 経常収支	-\$1230M	-\$855M	-\$1919M	--
25日 (月)	メキシコ	2月 小売売上高(前年比)	--	--	5.2%	--
26日 (火)	ブラジル	4月 FGV消費者信頼感	--	--	6710.0%	--
27日 (水)	メキシコ	2月 経済活動IGAE(前年比)	--	--	2.3%	--
27日 (水)	メキシコ	3月 Unemployment Rate SA	--	--	4.3%	--
27~28日	ブラジル	SELICレート	14.25%	--	14.25%	--
4月29日 (金)	メキシコ	1Q GDP(前年比)	--	--	2.5%	--

(注)2016年4月22日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
(資料)ブルームバーグ

エマージング通貨相場見通し

		2016年 1～3月（実績）	SPOT	2016年 6月	9月	12月	2017年 3月	6月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	6.4528 ～ 6.5962	6.4823	6.52	6.47	6.44	6.40	6.37
香港ドル	(HKD)	7.7488 ～ 7.8295	7.7573	7.76	7.76	7.76	7.76	7.76
インドルピー	(INR)	66.135 ～ 68.789	66.395	68.8	66.5	64.5	64.0	63.5
インドネシアルピア	(IDR)	12984 ～ 14002	13153	13600	13300	13000	12850	12500
韓国ウォン	(KRW)	1143.20 ～ 1245.13	1133.07	1160	1150	1140	1130	1120
マレーシアリング	(MYR)	3.8920 ～ 4.4415	3.8853	4.10	4.05	3.95	3.90	3.87
フィリピンペソ	(PHP)	45.900 ～ 48.069	46.440	47.0	46.4	45.7	44.8	43.9
シンガポールドル	(SGD)	1.3415 ～ 1.4444	1.3490	1.40	1.38	1.35	1.33	1.31
台湾ドル	(TWD)	32.156 ～ 33.791	32.290	33.00	32.80	32.60	32.40	32.20
タイバーツ	(THB)	35.65 ～ 36.42	35.06	36.0	35.4	34.9	34.7	34.5
ベトナムドン	(VND)	22183 ～ 22520	22240	22600	22500	22300	22300	22400
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	66.7341 ～ 85.9573	66.7435	65.00	63.00	60.00	63.00	63.00
南アフリカランド	(ZAR)	14.6344 ～ 17.9169	14.3176	15.00	15.50	16.00	16.00	16.50
トルコリラ	(TRY)	2.8142 ～ 3.0614	2.8328	3.00	3.20	3.30	3.40	3.50
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	3.5327 ～ 4.1720	3.5296	3.45	3.48	3.60	3.65	3.70
メキシコペソ	(MXN)	17.1019 ～ 19.4448	17.4700	18.00	17.50	17.30	17.00	16.70
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	16.906 ～ 18.563	16.886	17.33	17.00	16.77	16.25	16.17
香港ドル	(HKD)	14.253 ～ 15.615	14.106	14.56	14.18	13.92	13.40	13.27
インドルピー	(INR)	1.620 ～ 1.823	1.647	1.64	1.65	1.67	1.63	1.62
インドネシアルピア	(100IDR)	0.826 ～ 0.896	0.832	0.831	0.827	0.831	0.809	0.824
韓国ウォン	(100KRW)	8.990 ～ 10.267	9.597	9.74	9.57	9.47	9.20	9.20
マレーシアリング	(MYR)	26.326 ～ 29.357	28.254	27.56	27.16	27.34	26.67	26.61
フィリピンペソ	(PHP)	2.339 ～ 2.570	2.364	2.40	2.37	2.36	2.32	2.35
シンガポールドル	(SGD)	78.93 ～ 85.54	81.12	80.71	79.71	80.00	78.20	78.63
台湾ドル	(TWD)	3.340 ～ 3.671	3.389	3.42	3.35	3.31	3.21	3.20
タイバーツ	(THB)	3.111 ～ 3.412	3.120	3.14	3.11	3.09	3.00	2.99
ベトナムドン	(100VND)	0.4963 ～ 0.5482	0.4920	0.50	0.49	0.48	0.47	0.46
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.359 ～ 1.687	1.639	1.74	1.75	1.80	1.65	1.63
南アフリカランド	(ZAR)	6.525 ～ 7.805	7.641	7.53	7.10	6.75	6.50	6.24
トルコリラ	(TRY)	37.661 ～ 41.265	38.619	37.67	34.38	32.73	30.59	29.43
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	27.727 ～ 31.825	31.002	32.75	31.61	30.00	28.49	27.84
メキシコペソ	(MXN)	5.765 ～ 7.018	6.264	6.28	6.29	6.24	6.12	6.17

(注)1. 実績の欄は3月31日まで。SPOTは4月22日の7時50分頃。2. 実績値はブルームバーグの値。3. 予想の欄は四半期末の予想。

(資料)みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。